

## 第310回 番組審議会

1. 日 時 令和4年 4月12日(火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING  
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名  
出席委員数 8名

### ○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)  
近藤 一英 (副委員長)  
—以下50音順—  
石田 征広  
佐々木 泰司  
菅原 正二  
平野 順子  
八木橋 伸之  
渡邊 佳隆

### ○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)  
高嶋 昇 (常務取締役)  
一戸 俊行 (取締役)  
君澤 温 (取締役総務局長)

### ○ 事務局

近谷 利政  
岩渕 博美

#### 4. 議題 ①『元彼の遺言状』

放送日時：令和4年4月11日（月）21：00～22：24

#### ②フジテレビ4月改編について

鈴木 吉弘 様

（フジテレビジョン編成制作局編成センター局長職兼室長）

#### 5. 議事概要

今回は、フジテレビジョン編成制作局編成センター局長職兼室長の鈴木吉弘様をお迎えし、4月11日（月）に放送したドラマ『元彼の遺言状』第1話とフジテレビ4月改編について審議しました。

##### ●編成制作局編成センター局長職兼室長 鈴木吉弘様からの説明

・はじめにフジテレビ4月改編について、プライムタイムで7つの新番組を立ち上げた大きな改編となったこと、水曜のドラマの増枠、日曜夜の強化、平日午後帯の改編といった3つのポイントのほか、土曜午前のSDGs番組「サスティな！」を挙げ説明しました。

・ドラマ『元彼の遺言状』については、自身も弁護士である新川帆立さんの原作小説を、「ラジエーションハウス」など数々のフジテレビのドラマを担当したベテランの鈴木雅之監督、「監察医 朝顔」などを担当した若手の金城綾香プロデューサーがタッグを組んで制作しており、内容が多い原作の要素をうまくまとめられたと説明しました。

##### ●出席した委員からの意見

ドラマについて

- ・映像がミステリー調に意味深な陰影を使ったようで引き込まれた。
- ・暗い映像も見やすく作られていて、ストレスがなかった。
- ・今後期待感を感じさせる番組だと思った。
- ・テンポが速く、セリフの内容が難しかった。

- ・放送枠を拡大することで、夜10時から違う局を見たい人は拡大部分が見られなくなり、続きを見ても仕方ないと考える人もいるのでは。一話完結ではなく続く場合はあまり延ばさないほうがいいのではないかと。
- ・番宣のため出演者がいろいろな番組に出ているが、主人公がお笑い系になってしまって、ドラマがシリアスなときに、それがダブってしまい少し残念だと感じる。

4月改編について、フジテレビに対して

- ・『ポップUP!』、同じ枠で別なターゲットのニーズを拾うというのはいい考え方だと思う。
- ・雰囲気明るくなるような報道番組やワイドショーを制作してほしい。
- ・深掘りできるニュース番組を続けてほしい
- ・『サザエさん』のオープニングなどはかなりインパクトがあった。こういうものは地方に行けば行くほど大事だと思う。
- ・日本の昔の原風景など、後に残しておきたい風景なども取り上げてほしい。

●委員からの質問、意見に対する会社側（今回はフジテレビ）からの回答

- ・『サザエさん』のオープニングはどこに行っても皆さんから喜ばれている。『サザエさん』に限らず、地方の力みたいなものを、一緒にやっていくということは大事だと思っています。
- ・テンポに関しては、ちょっと速すぎたと思います。『ショムニ』『ラジエーションハウス』など平たい話であればよいが、ミステリーが加わったことで情報過多だったのではないかと考えております。
- ・今後も引き続き、たくさんの世代の方に喜んでいただける番組を、報道番組を含めて充実させていかなければと思っています。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和4年4月13日（水） 産経新聞 東北版

※令和4年4月23日（土）午前4時42分から4時45分まで  
「めんこいテレビ番審りレポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が  
自由に閲覧できるようにした

#### 8. その他の参考事項

特になし

次回は、令和4年5月10日（火）12時より開催予定です。